浜通り平坦地域における水稲育苗ハウスを利用した ストック秋冬出し作型(南相馬市)

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事 業 名 福島県営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証

研究課題名 水田転換畑におけるストック栽培の実証(南相馬市)

担当者佐藤優平、根本知明

Ⅰ 新技術の解説

1 要旨

浜通り地域では、花きなどの園芸品目の栽培が注目されるとともに、水稲育苗ハウスの育苗後の有効活用が求められている。そこで、水稲育苗ハウスを用いたストック秋冬出し作型の実証を行った。水稲収穫前の9月上旬に、水稲育苗ハウスでストックを定植すると、水稲作業との競合が少なく、11月に高品質なストックを出荷できる。

- (1) 水稲育苗ハウスにおいて、ストック(極早生)を水稲収穫前の8月17日に播種し、9月10日に定植すると、11月中旬に開花盛期となり、水稲作業との競合が少なく、収穫できる(図1、表1)。
- (2) 収穫されたストックは、切り花長、花穂長ともに大きく、上位規格の割合が 82.5%を占め、 品質が優れた。(表 1 、図 2)。
- (3) 実証したストック栽培では、10a あたり約64万円の所得が見込まれる(表2)。

2 期待される効果

(1) 水稲育苗ハウスにおいて、水稲育苗後に花き栽培を導入する際に参考になる。

3 活用上の留意点

- (1) 本試験は、南相馬市小高区の水稲育苗ハウス(間口 6.3m)で実証した。
- (2) 品種は極早生オールダブル一本立ち品種の「ドルセホワイト」を使用した。
- (3) ストックの育苗の際には、高温を避けるため30%遮光の寒冷紗をハウスに設置した。
- (4) ハウス周りに十分な深さの明渠を設けるなど排水対策を実施した。

Ⅱ 具体的データ等

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
品目	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中	上中下	上中下	上中下
ストック								,,,,,,,,,	////	
水稲	+	育苗作業	†					収穫作業		

- ※▲は播種、●は定植、■は開花期を示す。 Ø は栽培期間中のかん水及び薬剤散布(約5回)を 行う期間を示す。
- ※水稲育苗及び収穫作業期間は福島県農業経営(生活)計画策定指標(平成12年)を参考にした。

図1 ストック秋冬出し作型の栽培暦

表1 実証したストックの開花期及び切り花品質

	開花期		切り花長	花穂長	茎径		出荷規	格別割合	i(%)	
始期	盛期	終期	(cm)	(cm)	(mm)	3L(90cm)	2L(80cm)	L(70cm)	M(60cm)	規格外
11月14日	11月22日	11月27日	95.0 ± 2.8	25.6 ± 1.7	9.4 ± 0.5	82.5	15	2.5	0	0

- ※開花期は調査花の始期:10%、盛期:50%、終期:90%が開花した日
- ※切り花長、花穂長、茎径は平均値±標準偏差
- ※出荷規格は福島県青果物標準出荷規格(H29)に準じた。

表2 実証したストック栽培の経営実績

生産量(本/10a)*1	25,000
単価(円/本)*2	70
粗収益(円/10a)	1,750,000
種苗代(円)*3	88,000
その他費用(円)*4	1,017,924
費用合計(円)	1,105,924
所得(円/10a)	644,076

- ※1 実証ほの実際の裁植密度(12cm×12cm 5条植え)より算出した。
- ※2 単価は東京都中央卸売市場 市場統計情報を基に算出 した福島県産ストックの直近10年間の平均単価である。
- ※3 種苗代は実証ほで使用した種苗費を基に算出した。
- ※4 その他費用は、種苗代以外にかかる費用であり、福島県 農業経営(生活)計画策定指標(平成12年)のストック (年内切り)より引用した。



図2 収穫したストック

|| その他

1 執筆者

佐藤優平

2 実施期間

令和2年度

3 主な参考文献・資料

なし